# 四国支部事業予定　（2025/2/27 更新）

～～ 講座名をクリックすると詳細が開きます。 ～～

## ◆ カーボンニュートラル特別講座

| 講座種別 | 講座名 | 開催日時 | 開催場所 |
|---|---|---|---|
| CN･省エネ | 中小企業の CN･省エネ支援人材育成セミナー | 令和 6 年 4 月 23 日(火)<br>**終了** | サンポートホール高松<br>62 会議室（香川県高松市） |

## ◆ 徹底した省エネ講座

| 講座種別 | 講座名 | 開催日時 | 開催場所 |
|---|---|---|---|
| ベーシック講座 | エネルギーの基礎 | 随時 | オンライン講座<br>（オンデマンド配信） |
| 省エネ技術講座 | 改正省エネ法も見据えた計測と見える化の手法 | 随時 | オンライン講座<br>（オンデマンド配信） |
| 省エネ法 | 管理標準の作成と整備 | 随時 | オンライン講座<br>（オンデマンド配信） |
| | 改正省エネ法と適切な原単位管理（工場・事業場編） | 随時 | オンライン講座<br>（オンデマンド配信） |

※ 同名の講座を各支部で開催しておりますが、同じ内容です。

※ 他地区の講座にも参加できます。
講座一覧（ https://www.eccj.or.jp/education/tech/index.html ）からお申込みください。

## ◆「中小企業のＣＮ･省エネ支援人材育成」セミナー

終了

日　時：令和６年４月 23 日(火)　 13:30 ～ 16:30

対　象：中小企業のカーボンニュートラルを支援される企業･団体等のご担当者様へ

申込み：申込フォーム( https://forms.gle/f1jbfaMEreFtED8d6 )から申込み。
　　または、下記受講申込書に記入後、ファックスかメールで申込み。

問合先：四国支部

電　話：087-826-0550　　Email：skk@eccj.or.jp

案内チラシ URL：https://www.eccj.or.jp/education/tech/pdf/shi/240423.pdf

一般財団法人省エネルギーセンター　四国支部

令和６年度　ＣＮ･省エネ講座

中小企業のカーボンニュートラルを支援される企業・団体等のご担当者様向け

# 「中小企業のＣＮ･省エネ支援人材育成」セミナー

講師：株式会社ＥＭＳ　代表取締役　藤川 博文 氏
（一般財団法人 省エネルギーセンター　エネルギー使用合理化専門員）

2050 年カーボンニュートラルの実現には、中小企業の取組が欠かせません。しかし、一般的に人的・経済的リソースが限られる中小企業においては、対応の必要性を感じつつも、多くが具体的な方策を検討するまでには至っていないのが現状です。
本セミナーでは、中小企業におけるＣＮ・省エネの推進を支援される企業・団体等のご担当者様を対象に、経験豊富なコンサルタントの講師が、支援のポイントを分かり易くご説明いたします。

**日時：令和6年　4月23日（火）　13:30～16:30**
**会場：サンポートホール高松　6階　62会議室**

住所：〒760-0019　香川県高松市サンポート２番１号　／　JR 高松駅から徒歩３分

**カリキュラム**

1. 中小企業がＣＮ・省エネに取り組む意義
2. ＣＮ・省エネはどう進めるか
3. 補助金の活用
   - 様々な補助金事業を知る
   - 補助金を読み解くには「省エネ」や「ＣＮ」の知識が必須！

**申込方法**　　定員：３０名

1. 申込み方法　申込みフォーム( https://forms.gle/f1jbfaMEreFtED8d6 )からお申込みいただくか、下記の受講申込書に記入後、ファックス等にてお申込みください。
2. 受講料（消費税込）　一般：13，750 円　　賛助会員：11，000 円
3. 支払い方法　申込受付後にお届けする請求書に記載の指定口座にお振込みください。（振込手数料はご負担願います。）
4. 申込／問合せ先　一般財団法人 省エネルギーセンター　四国支部　講座担当　E-mail：skk@eccj.or.jp
   〒760-0023　香川県高松市寿町２-２-10　高松寿町プライムビル 8FL　Tel:087-826-0550

---

**「中小企業のCN･省エネ支援人材育成」セミナー　受講申込書**　　令和 ６年　月　日

| | | |
|---|---|---|
| 会社・事業所名 | | □ 一般　□ 賛助会員 |
| 所在地　〒 | Tel： | Fax： |
| 申込責任者名（所属・役職）　※ 請求書、受講票送付先 | E-mail： | |

| 受付番号 | 受講者・氏名　（ふりがな） | 所属・役職・E-mail |
|---|---|---|
| | （　　） | E-mail： |
| | （　　） | E-mail： |

**FAX　087-826-0555　又は　skk@eccj.or.jp**

◆【オンデマンド配信講座】

## 省エネを理解するためのファーストステップ！　エネルギーの基礎

カーボンニュートラルに資する徹底した省エネルギーに取り組み始めた初学者向けのオンデマンド配信講座です。「省エネルギー」とはエネルギーを効率的に使うことですが、そもそも「エネルギー」とは何かを正しく理解する事が必要であり、また「省エネルギー」を確実に進めるためには「エネルギー」の定量的な把握・分析が不可欠です。

本講座では、「エネルギー」の概念やそこで使われる量と単位、簡単な力学、エネルギーの変換など、基礎中の基礎を、丁寧にわかりやすく、そしてあまり肩ひじ張らず、ざっくばらんに解説いたします。初めてエネルギーについて学ぶ方、計算が苦手な方、歴史の話を聞きながら、楽しくエネルギーについて学べます。
（本講座は令和２年７月、全３回で配信した講座を再編集し、1 回にまとめたものです。）

- 受講可能期間：受講手続き完了後、１ヵ月間は何度でも視聴可能。
- 詳細情報および申込みはこちらから：
  https://www.eccj.or.jp/education/tech/pdf/shi/240416.pdf

◆【オンデマンド配信講座】

## 改正省エネ法も見据えた 計測と見える化の手法

「省エネ法：工場等判断基準」では、エネルギー管理のための計測（及び記録）が求められています。その意図を「蓄積されたデータからエネルギー使用の現状を把握し、ムリ・ムラ・ムダがないか評価し、改善（最適化）するため」と定義するならば、そのためのデータの把握が必要不可欠であることは明白です。すなわち、省エネという「目的」の実現には、そのデータから改善活動のネタが抽出できるのか、当該データの分析等を通じ、今取り組んでいる改善活動を適切に評価できるかなど、「手段」としての計測の価値を少しでも高める意識が必要です。

本講座では、斯様な視点――「使える計測（及び記録）で現場を見える化！」をキーワードに、省エネ推進に必要な変数、計測頻度と経済性、計測技術や計測点、そして集計・整理・分析の着眼点などを、「デジタル化」といった昨今のトレンド・事例も意識し、わかりやすく解説します。

- 受講可能期間：受講手続き完了後、1ヵ月間は何度でも視聴可能。
- 詳細情報および申込みはこちらから：
  https://www.eccj.or.jp/education/tech/pdf/shi/250227a.pdf

一般財団法人省エネルギーセンター 四国支部主催　オンデマンド（録画）配信講座

～目的と手段とを適切に紐づけ、「デジタル」と「アナログ」の長所を最大限生かすために～

改正省エネ法も見据えた

遠隔監視・自動化等、「次世代型エネルギー管理」への対応も視野に入れて――

計測と見える化の手法

「省エネ法：工場等判断基準」では、エネルギー管理のための計測（及び記録）が求められています。その意図を「蓄積されたデータからエネルギー使用の現状を把握し、ムリ・ムラ・ムダがないか評価し、改善（最適化）するため」と定義するならば、そのためのデータの把握が必要不可欠であることは明白です。すなわち、省エネという「目的」の実現には、そのデータから改善活動のネタが抽出できるのか、当該データの分析等を通じ、今取り組んでいる改善活動を適切に評価できるかなど、「手段」としての計測の価値を少しでも高める意識が必要です。

本講座では、斯様な視点 ――「使える計測（及び記録）で現場を見える化！」をキーワードに、省エネ推進に必要な変数、計測頻度と経済性、計測技術や計測点、そして集計・整理・分析の着眼点などを、「デジタル化」といった昨今のトレンド・事例も意識し、わかりやすく解説します。　講師：（一財）省エネルギーセンター　省エネ技術本部　技術支援センター　技術普及部　マネージャー　鈴木　伸隆

●主なカリキュラム●　講義時間は4時間38分です。視聴期限は1ヵ月で、その間何度でもご視聴いただけます。

0. 改正省エネ法をも見据えた基本的視点（90分）●エネルギー消費の「根本的構造」を考える　●改正省エネ法施行と計測・見える化　●新たな「外的要因」の認識　●非化石エネルギーの管理と計測
1. 計測に着目したエネルギー管理の基礎（89分）●計測の実務：「これまで」　●計測の実務：「これから」　●計測の実務：「これから」
2. 計測の要否の見極め方（61分）●そもそも論：「計測」の要否に関する配慮事項（例）　●省エネ推進に必要な「デジタルデータ」取得法　●「計測が不可欠な設備」を考える
3. 省エネのための計測及び記録の技術（21分）●絶対に忘れてはいけないコト　●計測データの「目視」　●電力計測データのフル活用
4. 計測データの見える化事例（17分）●「影響別」見える化　●「見せる化」の工夫　●「見てるか？」

●受講要領●

●受講条件：ZOOMによる動画配信講座です。インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。 必ず事前に右記の試聴用動画が試聴できる事をご確認の上、お申し込み下さい。なお、Web会議・セミナーのアプリ等のダウンロードの必要はございません。

必ず事前にZOOMの試聴を行って下さい。

試聴用のパスコードはtest#2023 です。

●受講料（税込）：
一　般：27，500円
賛助会員：22，000円

お申し込みはこちらの二次元バーコードをスマホ等で読み込むかクリック(タップ)して下さい

●申込方法：右の二次元コードをクリックし、表示された申し込みフォーム（Googleフォーム）よりお申し込みください。もしくは右の二次元コードをスマホなどで読み込んで申し込みフォームを表示させて下さい。

●お支払いと注意事項：お申し込み確認後にお送りいたします請求書に記載された指定口座に受講料をお振込み下さい。口座へのご入金を確認させていただきましたら、パワーポイント画面集（印刷物）の郵送、及び録画配信のご案内をメールでお送りします。
なお、動画のご視聴はお申し込みいただいた方に限らせていただきます。視聴用URLやパスコードの共有を禁じます。

講座の紹介動画をご覧ください！

※ 同名の講座を各支部で開催しておりますが、同じ内容です。

問い合わせ先　一般財団法人省エネルギーセンター　四国支部　講座担当
TEL: :087-826-0550　E-mail：skk@eccj.or.jp
〒760-0023 香川県高松市寿町2-2-10 高松寿町プライムビル8F

◆【オンデマンド配信講座】

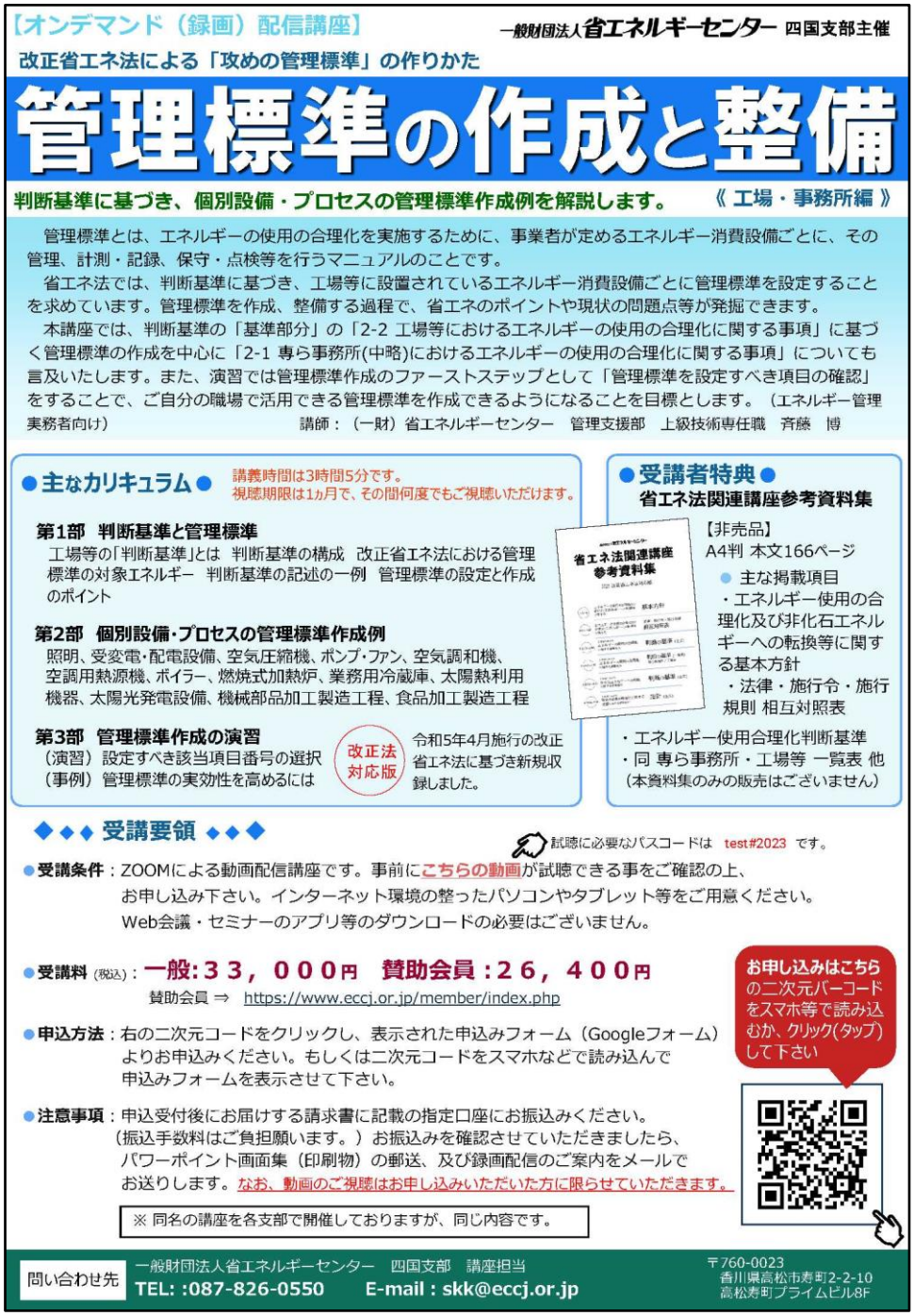
## 管理標準の作成と整備

管理標準とは、エネルギーの使用の合理化を実施するために、事業者が定めるエネルギー消費設備ごとに、その管理、計測・記録、保守・点検等を行うマニュアルのことです。

省エネ法では、判断基準に基づき、工場等に設置されているエネルギー消費設備ごとに管理標準を設定することを求めています。管理標準を作成、整備する過程で、省エネのポイントや現状の問題点等が発掘できます。

本講座では、判断基準の「基準部分」の「2-2 工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事項」に基づく管理標準の作成を中心に「2-1 専ら事務所(中略)におけるエネルギーの使用の合理化に関する事項」についても言及いたします。また、演習では管理標準作成のファーストステップとして「管理標準を設定すべき項目の確認」をすることで、ご自分の職場で活用できる管理標準を作成できるようになることを目標とします。（エネルギー管理実務者向け）

- 受講可能期間：受講手続き完了後、1ヵ月間は何度でも視聴可能。
- 詳細情報および申込みはこちらから：
  https://www.eccj.or.jp/education/tech/pdf/shi/250227b.pdf



【オンデマンド（録画）配信講座】

一般財団法人省エネルギーセンター 四国支部主催

改正省エネ法による「攻めの管理標準」の作りかた

管理標準の作成と整備

判断基準に基づき、個別設備・プロセスの管理標準作成例を解説します。 《 工場・事務所編 》

管理標準とは、エネルギーの使用の合理化を実施するために、事業者が定めるエネルギー消費設備ごとに、その管理、計測・記録、保守・点検等を行うマニュアルのことです。
省エネ法では、判断基準に基づき、工場等に設置されているエネルギー消費設備ごとに管理標準を設定することを求めています。管理標準を作成、整備する過程で、省エネのポイントや現状の問題点等が発掘できます。
本講座では、判断基準の「基準部分」の「2-2 工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事項」に基づく管理標準の作成を中心に「2-1 専ら事務所(中略)におけるエネルギーの使用の合理化に関する事項」についても言及いたします。また、演習では管理標準作成のファーストステップとして「管理標準を設定すべき項目の確認」をすることで、ご自分の職場で活用できる管理標準を作成できるようになることを目標とします。（エネルギー管理実務者向け）

講師：（一財）省エネルギーセンター　管理支援部　上級技術専任職　斉藤　博

●主なカリキュラム●

講義時間は3時間5分です。
視聴期限は1ヵ月で、その間何度でもご視聴いただけます。

第1部　判断基準と管理標準
工場等の「判断基準」とは　判断基準の構成　改正省エネ法における管理標準の対象エネルギー　判断基準の記述の一例　管理標準の設定と作成のポイント

第2部　個別設備・プロセスの管理標準作成例
照明、受変電・配電設備、空気圧縮機、ポンプ・ファン、空気調和機、空調用熱源機、ボイラー、燃焼式加熱炉、業務用冷蔵庫、太陽熱利用機器、太陽光発電設備、機械部品加工製造工程、食品加工製造工程

第3部　管理標準作成の演習
（演習）設定すべき該当項目番号の選択
（事例）管理標準の実効性を高めるには

改正法対応版
令和5年4月施行の改正省エネ法に基づき新規収録しました。

●受講者特典●
省エネ法関連講座参考資料集

【非売品】
A4判 本文166ページ
● 主な掲載項目
・エネルギー使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する基本方針
・法律・施行令・施行規則 相互対照表
・エネルギー使用合理化判断基準
・同 専ら事務所・工場等 一覧表 他
（本資料集のみの販売はございません）

◆◆◆ 受講要領 ◆◆◆

試聴に必要なパスコードは test#2023 です。

●受講条件：ZOOMによる動画配信講座です。事前にこちらの動画が試聴できる事をご確認の上、お申し込み下さい。インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。Web会議・セミナーのアプリ等のダウンロードの必要はございません。

●受講料（税込）：一般：３３，０００円　賛助会員：２６，４００円
賛助会員 ⇒ https://www.eccj.or.jp/member/index.php

●申込方法：右の二次元コードをクリックし、表示された申込みフォーム（Googleフォーム）よりお申込みください。もしくは二次元コードをスマホなどで読み込んで申込みフォームを表示させて下さい。

お申し込みはこちらの二次元バーコードをスマホ等で読み込むか、クリック(タップ)して下さい

●注意事項：申込受付後にお届けする請求書に記載の指定口座にお振込みください。（振込手数料はご負担願います。）お振込みを確認させていただきましたら、パワーポイント画面集（印刷物）の郵送、及び録画配信のご案内をメールでお送りします。なお、動画のご視聴はお申し込みいただいた方に限らせていただきます。

※ 同名の講座を各支部で開催しておりますが、同じ内容です。

問い合わせ先
一般財団法人省エネルギーセンター　四国支部　講座担当
TEL: :087-826-0550　E-mail : skk@eccj.or.jp
〒760-0023
香川県高松市寿町2-2-10
高松寿町プライムビル8F

## ◆【オンデマンド配信講座】

### 改正省エネ法と適切な 原単位管理（工場・事業場編）

省エネ法では、「事業者に、その設置している全ての工場等全体又は工場等ごとに、エネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位（以下、原単位）を中長期的にみて年平均１％以上低減させることを目標として、エネルギー管理に努める」ことを求めています。

原単位は、エネルギーを有効に活用しているかを知るための極めて重要な基準ですが、原単位の分母が適切に選定されていないと、省エネの成果を正しく評価できません。

本講座では、原単位の分母の適切な選定など、様々な対策について事例をあげてわかりやすく解説いたします。原単位の分母や算定方法の見直しをご検討されている方は必聴の講座です。

- 受講可能期間：受講手続き完了後、１ヵ月間は何度でも視聴可能。
- 詳細情報および申込みはこちらから：
  https://www.eccj.or.jp/education/tech/pdf/shi/240305.pdf

【オンデマンド(録画)配信講座】　一般財団法人省エネルギーセンター 四国支部

改正省エネ法と適切な **原単位管理** 工場・事業場編

改正省エネ法対応

省エネ法では、「事業者に、その設置している全ての工場等全体又は工場等ごとに、エネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位（以下、原単位）を中長期的にみて年平均１％以上低減させることを目標として、エネルギー管理に努める」ことを求めています。

原単位は、エネルギーを有効に活用しているかを知るための極めて重要な基準ですが、原単位の分母が適切に選定されていないと、省エネの成果を正しく評価できません。合理化や省エネに取組んでいるにもかかわらず原単位が改善しない場合、原単位の分母や算定方法が実態に即していないケースが多々見受けられます。

本講座では、原単位の分母の適切な選定など、様々な対策を事例をあげてわかりやすく解説いたします。原単位の分母や算定方法の見直しをご検討されている方は必聴の講座です。（エネルギー管理実務者向け）

講師：（一財）省エネルギーセンター　管理支援部　上級技術専任職　斉藤　博

**●主なカリキュラム●**（講義時間は2時間23分です。視聴期限は1ヵ月で、その間何度でもご視聴いただけます）

**第１部　原単位とは**
・エネルギー消費原単位とは　・改正省エネ法におけるエネルギー　・エネルギー使用量と原油換算　・「エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値」について　・エネルギー消費原単位と電気需要最適化評価原単位　・特定事業者の原単位　他

**第２部　原単位が関係する制度**
・事業者クラス分け評価制度　・定期報告に基づいたクラス分けの推移　・S評価の利点
・ベンチマーク制度の概要　・ベンチマーク制度対象業種　・定期報告の任意開示制度

**第３部　原単位管理の問題点と対策**
・省エネ活動は推進しているが、「原単位」が悪化してしまう　・なぜ原単位管理がうまくいかないのか？
・分母選定不良の対策Ⅰ～Ⅴ　他

**第4部　改正法における原単位算定例**
・改正法でのエネルギー計上例（事業所）　・改正法でのエネルギー計上例（事業者）　・改正法でのエネルギー使用量例
・改正法での原単位計算例　・エネルギー使用量計上　基本の確認

**第5部　原単位改善に役立つ制度**
・未利用熱活用制度　・連携省エネルギー計画

**◆◆◆ 受講要領 ◆◆◆**

試聴に必要なパスコードは test#2023 です。

●**受講条件**：ZOOMによる動画配信講座です。事前にこちらの動画が試聴できる事をご確認の上、お申し込みください。インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。Web会議・セミナーのアプリ等のダウンロードの必要はございません。

●**受講料**（税込）：**一般：１６，５００円　賛助会員：１３，２００円**
賛助会員 ⇒ https://www.eccj.or.jp/member/index.php

●**申込方法**：右の二次元バーコードをクリックし、表示された申込みフォームよりお申込みください。もしくは二次元バーコードをスマホなどで読み込んで申込みフォームを表示させてください。

●**支払い方法**：申し込み受付後にお届けする請求書に記載の指定口座にお振込みください。（振込手数料はご負担願います。）

●**動画の視聴について**：請求書に記載した指定口座へのお振込みを確認しましたら、パワーポイント画面集（印刷物）の郵送、及び録画配信のご案内をメールでお送りします。なお、動画のご視聴はお申し込みいただいた方に限らせていただきます。

お申し込みはこちらの二次元バーコードをスマホ等で読み込むか、クリック(タップ)して下さい

問い合わせ先　一般財団法人省エネルギーセンター　四国支部　省エネ講座事務局
TEL：087-826-0550　E-mail：skk@eccj.or.jp
〒760-0023
香川県高松市寿町2-2-10
高松寿町プライムビル8FL